

2024年4月30日
東洋埠頭株式会社
代表取締役社長 原 匡史

環境に配慮した中温化アスファルト舗装材の導入について

当社は、大阪支店に8棟目となる新危険品倉庫が2024年3月21日に竣工いたしました。新危険品倉庫は、倉庫内を一定温度に保つ特殊倉庫の機能を有し、高潮対策や非常用電源装置を完備するなど、災害に強い施設となっております。また、新危険品倉庫の周辺2,033㎡は環境に配慮した舗装材を導入いたしました。

今回導入した中温化アスファルト舗装材は、アスファルトの粘度を一時的に低下させる技術を用いて、製造・施工時の温度を10℃程度低減できるアスファルト混合物であり、従来の方法に比べ538kgのCO2排出量の削減を実現しております。

なお、東洋埠頭グループは、環境の保全に貢献していく企業グループとして、事業を通じたサステナビリティの確保及びSDGs活動に一層取り組んでまいります。

<新倉庫の概要>

(1) 用途	危険品倉庫 (消防法第4類対応)
(2) 延床面積	1,250㎡
(3) 仕様	平屋建て低床式、鉄骨造
(4) 設備 収納能力	定温倉庫 500㎡ (+3℃～+10℃対応) (436キロリットル) 常温倉庫 500㎡ (470キロリットル)
(5) 着工	2023年7月末
(6) 稼働	2024年3月

<外観>



以上